

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		タイにおけるゴムとパームの政治生態学:生活世界・生態環境との調和を目指して			
研究テーマ (欧文) AZ		Political Ecology of Rubber and Oil Palm in Thailand: Towards the Harmony with Living Worlds and Environments			
研究氏 代 表 名 者	カタカナ CC	姓)フジタ	名)ワタル	研究期間 B	2014～ 2016年
	漢字 CB	藤田	渡	報告年度 YR	2016年
	ローマ字 CZ	FUJITA	WATARU	研究機関名	甲南女子大学→大阪府立大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科准教授			
概要 EA (600字～800字程度にまとめてください。)					
<p>タイで近年、急速に拡大してきたゴムとパームの栽培が地域社会と生態環境に与える影響について、1)国・国際社会レベルでの政治経済との関連性、2)タイ東北部・南部での地域社会の変化、3)地域の生態環境の変化とそれに対する行政や住民の対応、に分けて、東北部・南部でのフィールドワークによる事例研究を行った。</p> <p>その成果は以下のようにまとめられる。</p> <p>1)国・国際社会レベルでの政治経済との関連性 新興国経済の成長に伴う需要増により、ゴム・パームオイルとも価格が上昇し栽培拡大を後押しした。タイ政府は北部・東北部でゴム、南部でパームの栽培振興策を長年講じてきた。特に、東北部でのゴム振興策については、そもそも、反共対策で始められ、その後も、時の政権や地元選出の国会議員による選挙対策として政治的に利用されてきた側面もある。</p> <p>2)地域社会の変化 これらの作物の価格が継続的に高い水準を維持したことから、農村地域の経済的・社会的地位が向上した。都市的な消費生活が浸透しただけでなく、高等教育の普及も見られた。他方で、日常生活のなかでの自然環境とのリンクが薄くなった。人々の政治的意識の変化も見られ、より具体的な政策を重視するようになった。また、ゴム出荷のための協同組合での経験などにより、国内外の政治経済への知見を深めている。</p> <p>3)生態環境への影響 ゴム園・パーム園が天然林を浸食し、洪水の増加や生態資源の減少が起こっている。ゴム園でまかれた農薬による周辺の土地や小川への流入が広がっており、野生の食用資源が汚染されている。収入の上昇により食物を購入するようになったので、資源の減少の表だった影響は出ていないが、グローバルな市場動向に左右される度合いが強く、脆弱性が高まっている。コミュニティレベルでの規制の必要性は村人の一部では認識されるものの、村内で何らかの規制を課すことへのコンセンサスが得られず、身動きが取れない状況である。他方で、国立公園など保護区にまたがる一部地域では、2014年以降、軍事政権による強権的自然保護政策により、ゴム園を奪われ、逮捕・訴追されるケースも見られる。これらのことから、強制的措置よりも、地域の人々自身がこうした経験のなかから、長期的に安定した生活環境を構築できるような基盤作りが必要であることがわかった。</p> <p>これら成果は、学会などでは順次、発表してきた。現在、学術誌での特集として全体を英語論文 4本として公開する準備を進めている。また、2017年12月には、タイで開かれる国際的学術会議 Consortium for Southeast Asian Studies in Asia (SEASIA) Conferenceにてパネル・セッションでの発表を行う。</p>					
キーワード FA					

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>	道路封鎖の論理と感情：タイ南部のゴム農民による集会現場から							
	著者名 <sup>GA</sup>	藤田 渡	雑誌名 <sup>GC</sup>	『東南アジア研究』（投稿中）					
	ページ <sup>GF</sup>	～	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>								
	著者名 <sup>GA</sup>		雑誌名 <sup>GC</sup>						
	ページ <sup>GF</sup>	～	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>								
	著者名 <sup>GA</sup>		雑誌名 <sup>GC</sup>						
	ページ <sup>GF</sup>	～	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
図書	著者名 <sup>HA</sup>								
	書名 <sup>HC</sup>								
	出版者 <sup>HB</sup>		発行年 <sup>HD</sup>					総ページ <sup>HE</sup>	
図書	著者名 <sup>HA</sup>								
	書名 <sup>HC</sup>								
	出版者 <sup>HB</sup>		発行年 <sup>HD</sup>					総ページ <sup>HE</sup>	

欧文概要 EZ

In this research project, the relationship of expanding rubber and oil palm cultivation to local society and natural environment was examined based on the field research on following topics: 1) interrelationship with political economy in national and global levels; 2) transformation of local social orders in the Northeast and Southern Thailand; 3) the degradation of natural environment and the measurements taken by both governmental agencies and local communities.

The results are summaries as below.

The socio-economic conditions in the rural areas have been up-graded close to urban middle class life style. The link with natural environments have become thinner. Political consciousness has changed to more policy-oriented one. The experiences in committing to rubber cooperatives is a good learning opportunity to the people on broader political economic trends.

As environmental impacts, the deforestation by conversion to rubber and oil palm gardens caused decrease of natural resources and floods. The herbicides polluted surrounding lands and streams. Some villagers acknowledge the problems but the communities could not control them due to the lack of consensus. On the other hand, recently, those farmers who have been long overlooked by the officers to cultivate protected forest areas are suddenly arrested or forced to move out due to the change of the government's policy. These points show higher vulnerability of the life totally depending upon rubber and oil palm. The social facilities that enables the locals to subjectively consider their own living environments, rather than any regulatory measures by the government, are needed.